平和学習講演会

松山飛行場（唐子飛行場）について

回覧

松山飛行場航空写真

今回の講演会では、現在、町の文化財保護委員として活躍されている大澤謙司氏を講師にお迎えします。大澤氏は旧埼玉県立玉川工業高校で関東松山飛行場の想定図の作成を行うなど飛行場について長く研究をされています。

是非、この機会に町に関わる戦跡から平和について考えてみてはいかがでしょうか。

滑川町文化財保護委員

講師 おおさわけんじ
大澤謙司氏

＜旧陸軍関東松山飛行場（唐子飛行場）概要＞

◆旧宮前村（現都地区）と旧唐子村（現新郷地区）にかけての首都防衛のための飛行場

関東松山飛行場は戦時中、アメリカ軍のＢ－２９などによる本土爆撃に対して首都防衛を行うために関東各地に旧日本陸軍の航空基地が建設されることとなり、その際に作られた飛行場のひとつです。正式な名前は関東松山飛行場ですが、当時付近に住んでいた人からは唐子飛行場とも呼ばれました。この飛行場は、昭和１９年（1944）頃に建設が始まりました。約２００ヘクタール（東京ドーム約４３個分）の広さがあり、飛行場の敷地内には格納庫や部隊用の建物、武器や被服などを収納する建物が作られました。他にも、空襲の時に飛行機を隠すための２本の誘導路が飛行場西側に作られました。しかし、飛行場としては完成を待たずして、昭和２０年（1945）８月に終戦となり実際に使用されることはありませんでした。

日　時　令和5年8月17日（木）
開場　13：30～
開演　14：00～15：00

入場無料

会　場　滑川町コミュニティセンター大集会室
定　員　１００名(定員に達し次第受付を終了します)

※募集期間　7/4(火)～8/16(水)

エコミュージアムセンターへ電話にて申込(TEL57-1902)
又はエコミュージアムセンター窓口にて申込(福田763－4)

※申込は、毎週月曜日(休館日)を除く、AM10時～PM5時までです。なお、7/16、7/18、8/11は休館日です。

お問合せ
滑川町エコミュージアムセンター
（教育委員会　文化財保護担当）
所在地：滑川町大字福田763-4
TEL：0493-57-1902